

発行第06号

2024年度 環境経営レポート

芝電化株式会社

◆ 対象期間：2024年4月～2025年3月
◆ 発行日：2025年6月12日



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

〒998-0875 山形県酒田市東町一丁目20番17号
TEL0234-23-2111 (代) FAX0234-23-2113
<https://www.shibadenka.co.jp>

目次

- ・ 環境経営方針
- ・ 組織の概要
- ・ 認証・登録の対象組織・活動
- ・ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表
- ・ 主な環境負荷の実績
- ・ 環境経営目標及びその実績
- ・ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
- ・ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
- ・ 外部からの環境上の苦情・要請等
- ・ 緊急事態対応の試行・訓練
- ・ SDGs とのかかわり
- ・ 環境経営方針
- ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示

1.環境経営方針

＜環境理念＞

**当社は、人類が地球環境を守ること
も壊すこともできる唯一の地球上の
生命体であるとともに、地球に生き
る生命体のパートナーの一員である
事を認識し、あらゆる事業活動の中
で地球環境との調和を目指し、すべ
ての生命を永久的に育んでいく為の
活動を全員で実践します**

＜環境保全への行動指針＞

環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

従業員は、当社＜環境理念＞を念頭に置いて、活動を実践していきます。

SDGsの活動を根幹にEA21の推進に全従業員で取り組みます。

創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。

①電力の削減：LED化、不要な照明の消灯、冷暖房の適正温度化、OA機器の省エネ を推進します。

②化石燃料（LPガス・灯油・ガソリン）：室温の適正化、エコドライブの推進 に努めます。

適正な利用により水使用量の削減に努めます。

樹脂成型品の廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努め、資源リサイクル率の向上を図ります。

①プラスチック：廃材ロスの低減に努めます。

②一般廃棄物：ごみの分別を徹底し、リサイクルによる再資源率を向上します。

環境負担を低減した製品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。

地域社会への清掃活動、観光産業への応援・参加をします。

本環境経営方針を全従業員へ周知し、継続的な環境改善を推進します。

制定：2019年4月1日
代表取締役 平井 美沙

2.組織の概要

(1)名称及び代表者名

◆芝電化株式会社

◆代表取締役 平井 美沙

(2)所在地

◆本社 東京都大田区南蒲田二丁目18番22号

◆酒田工場 山形県酒田市東町一丁目20番17号

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者兼担当者 環境品質保証課 眞嶋 清一

TEL:0234-23-2111

E-mail: qa1@shibadenka.co.jp

<https://www.shibadenka.co.jp/>

(4)事業内容

◆電子機器用樹脂成型品、

◆トランス及びコイルの製造

(5)事業の規模(対象工場:酒田工場)

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生産数	千個	16,260	14,062	14,178	18,277	17,599	21,473	14,099
従業員	名	36	36	36	36	36	30	27
延べ床面積	m ²	1,293	1,293	1,293	1,293	1,293	1,294	1,293

(6)事業年度

◆4月1日～3月31日

3.認証・登録の対象組織・活動

(1)登録組織名

◆芝電化株式会社

(2)対象事業所

◆酒田工場

(3)対象外

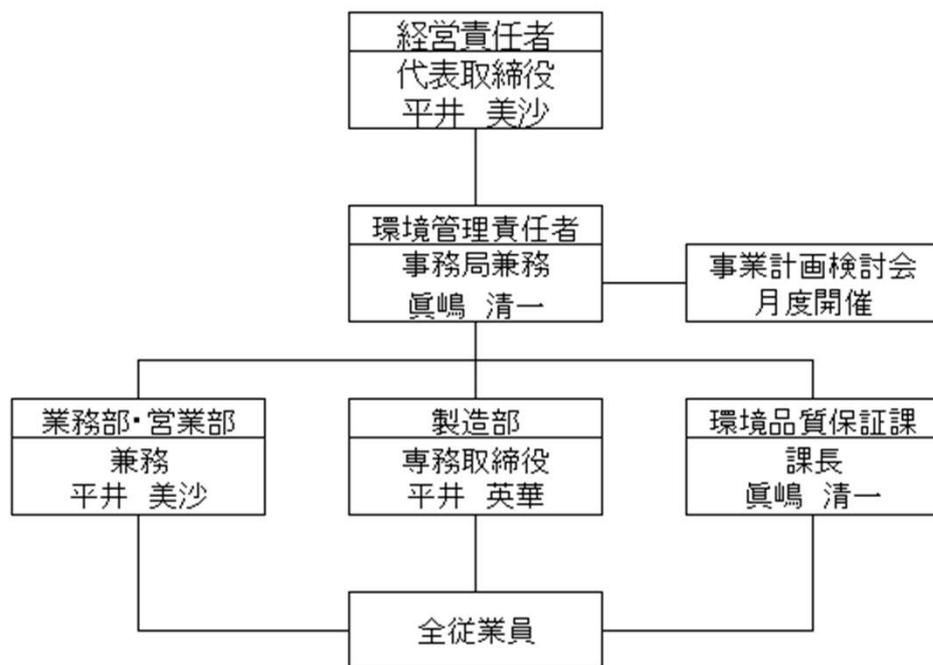
◆本社:登記簿上の本社であり事業実態がないため、対象外としました

(4)活動

◆樹脂成型品の製造・各種トランス、コイルの製造

4.環境経営組織図及び役割・責任・権限表

(1)組織図



(2)役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し指示 / 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確化する、効果的で必要十分な実施体制を構築する ・BCP計画の承認、見直し指示(注1) / CSRの見直し、見直し指示、承認 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (事務局兼務)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成、承認 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の遵守評価の実施 ・従業員に対する教育訓練の実施および記録の作成、保管 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境に関する外部講習やWEB講習等の案内 ・業界団体や政府機関が発表しているガイドライン等の情報把握 ・BCP計画の見直し(注1)/CSRの見直し
事業計画検討会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

5.主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	217,850	159,114	119,570
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	4,400	1,580	1,510
産業廃棄物排出量	kg	8,150	4,110	3,120
総排水量	m ³	789	282	243
発生量	kg	0	0	0
発生抑制量		0	0	0
再生利用量		0	0	0
熱回収量		0	0	0
減量量		0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0
※二酸化炭素排出係数	0.433 kg-CO ₂ /kWh	電力会社の調整後の係数		

(1)二酸化炭素総排出量

◆2018年度対比: **98,208kg-CO₂ 45.0%削減**

(2)一般廃棄物排出量

◆2018年度対比: **2,890kg 65.7%削減**

(3)産業廃棄物排出量

◆2018年度対比: **5,030kg 61.7%削減**

(4)総排水量

◆2018年度対比: **546m³ 69.2%削減**

6.環境経営目標及びその実績

当社は、基準値を「2018年4月1日～2019年3月31日」とし、2024年～2026年までの目標値を以下のよう
に定めました

年 度 項 目		基準値 年 2018	2024/4～2025/3		評 価	2025/4～ 2026/3	2026/4～ 2027/3
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	216,241	131,907	118,904○		129,745	127,582
	基準年度比	2018年	61.0%	55.0%○		60.0%	59.0%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	379	341	219○		341	341
	基準年度比	2018年	90.0%	57.7%○		90.0%	90.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,230	1,015	447○		1,015	1,015
	基準年度比	2018年	82.5%	42.2%○		82.5%	82.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	217,850	133,263	119,570		131,101	128,938
一般廃棄物の削減	kg	4,400	2,200	1,510○		2,200	2,200
	基準年度比	2018年	50.0%	34.3%○		50.0%	50.0%
産業廃棄物の削減	kg	8,150	4,809	3,120○		4,727	4,646
	基準年度比	2018年	59.0%	38.3%○		58.0%	57.0%
水道水の削減	m ³	789	442	243○		434	434
	基準年度比	2018年	56.0%	30.8%○		55.0%	55.0%
1,000個生産あたりの二酸化炭素排出量	kg	13.403	8.199	8.481×		8.066	7.933
	基準年度比		38.8%	36.7%		39.8%	40.8%
環境に配慮した生産活動		不良率の低減 歩留り管理 顧客クレーム削減					

(1)二酸化炭素総排出量

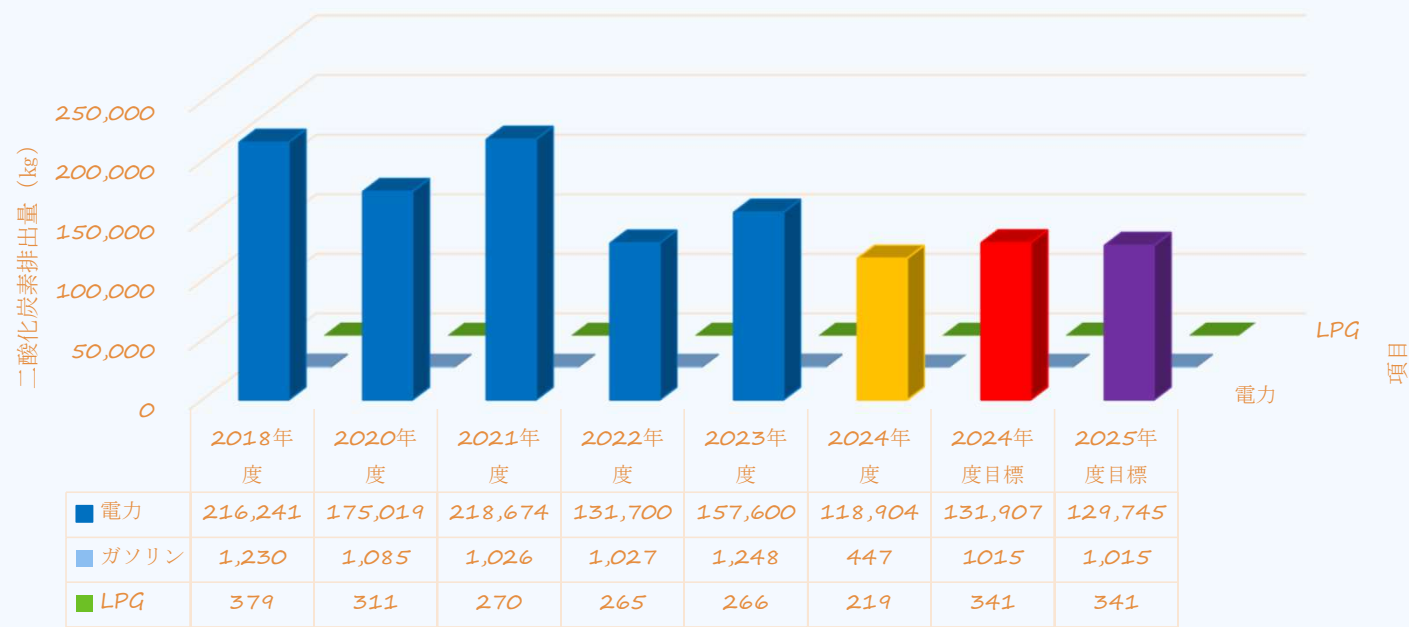
◆2018年度対比： 目標値達成

98,208kg-CO₂ 45.0%削減した

7.環境経営計画の取組結果とその評価

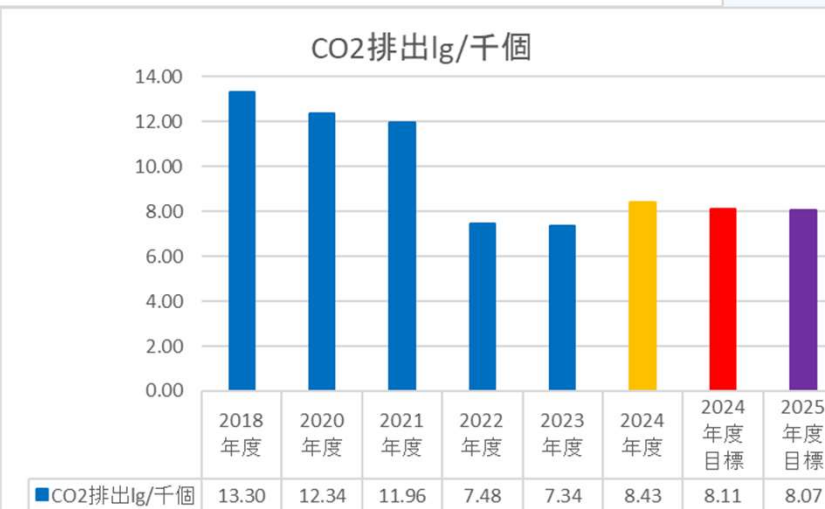
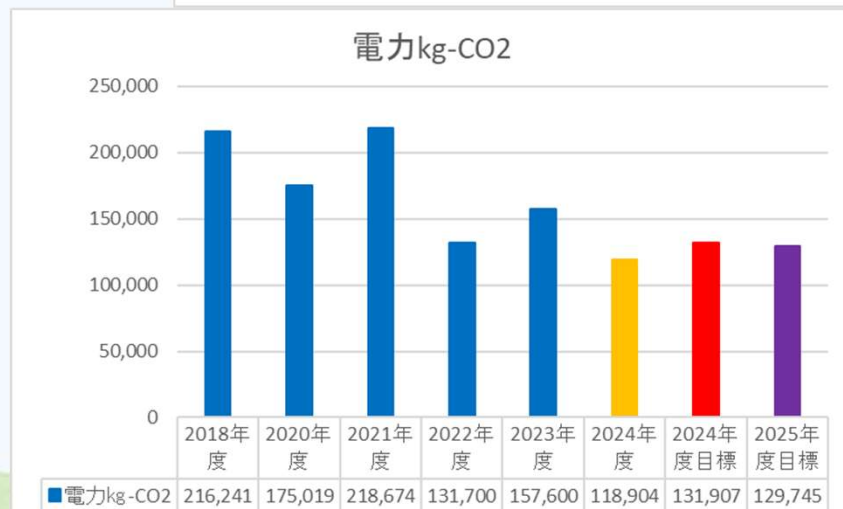
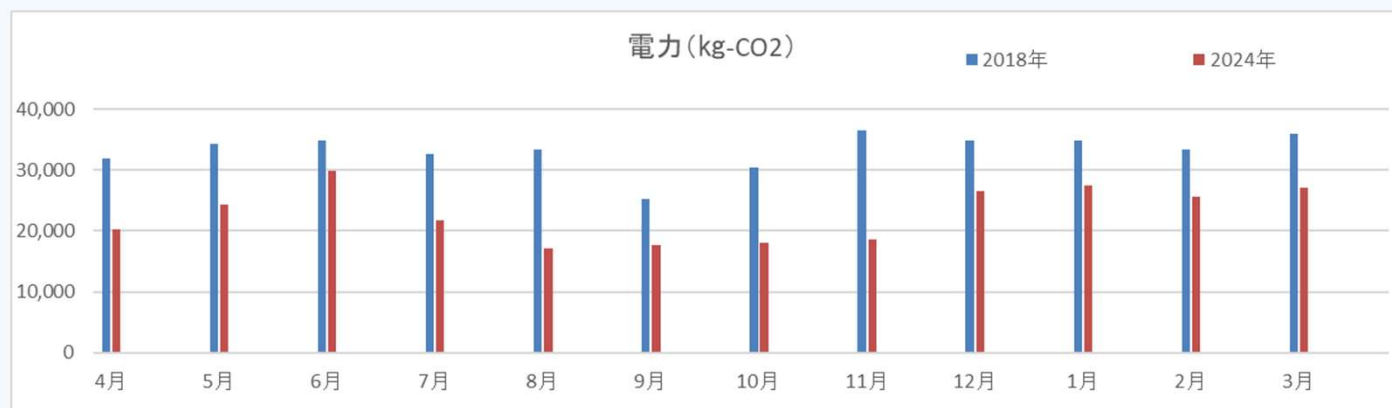
次年度の環境経営計画

二酸化炭素排出 上位3項目



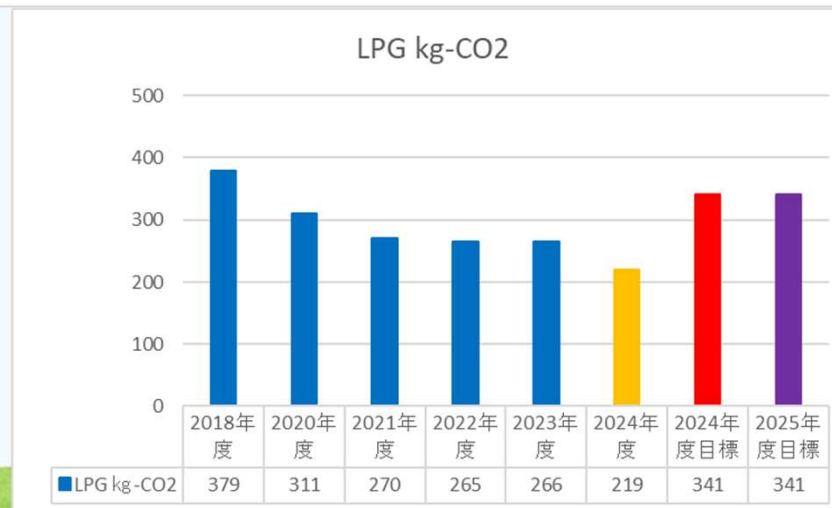
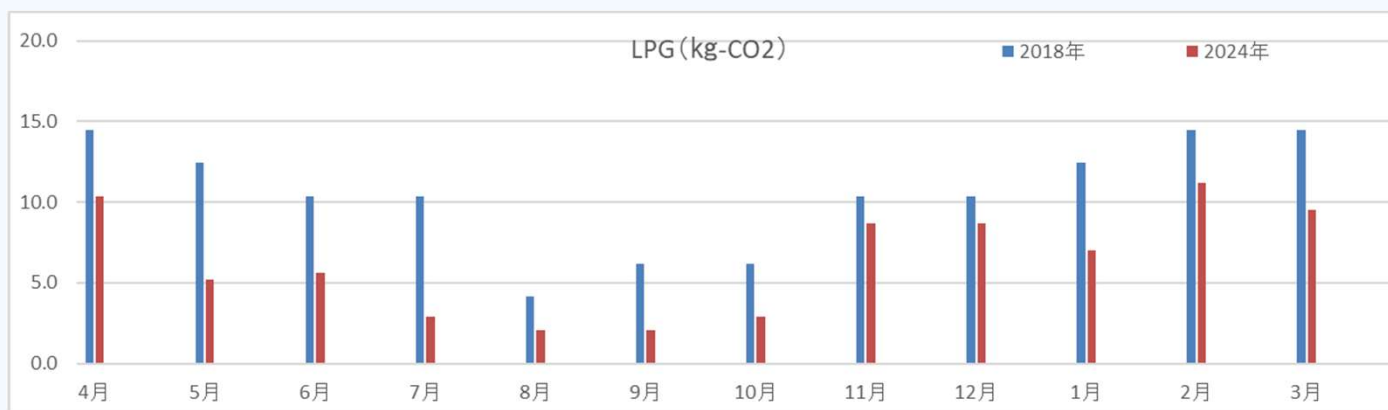
(1)電力

射出成型品の減産に伴い、使用電力(CO2)排出量は減少したが、生産1,000個当たりのCO2排出は増加した



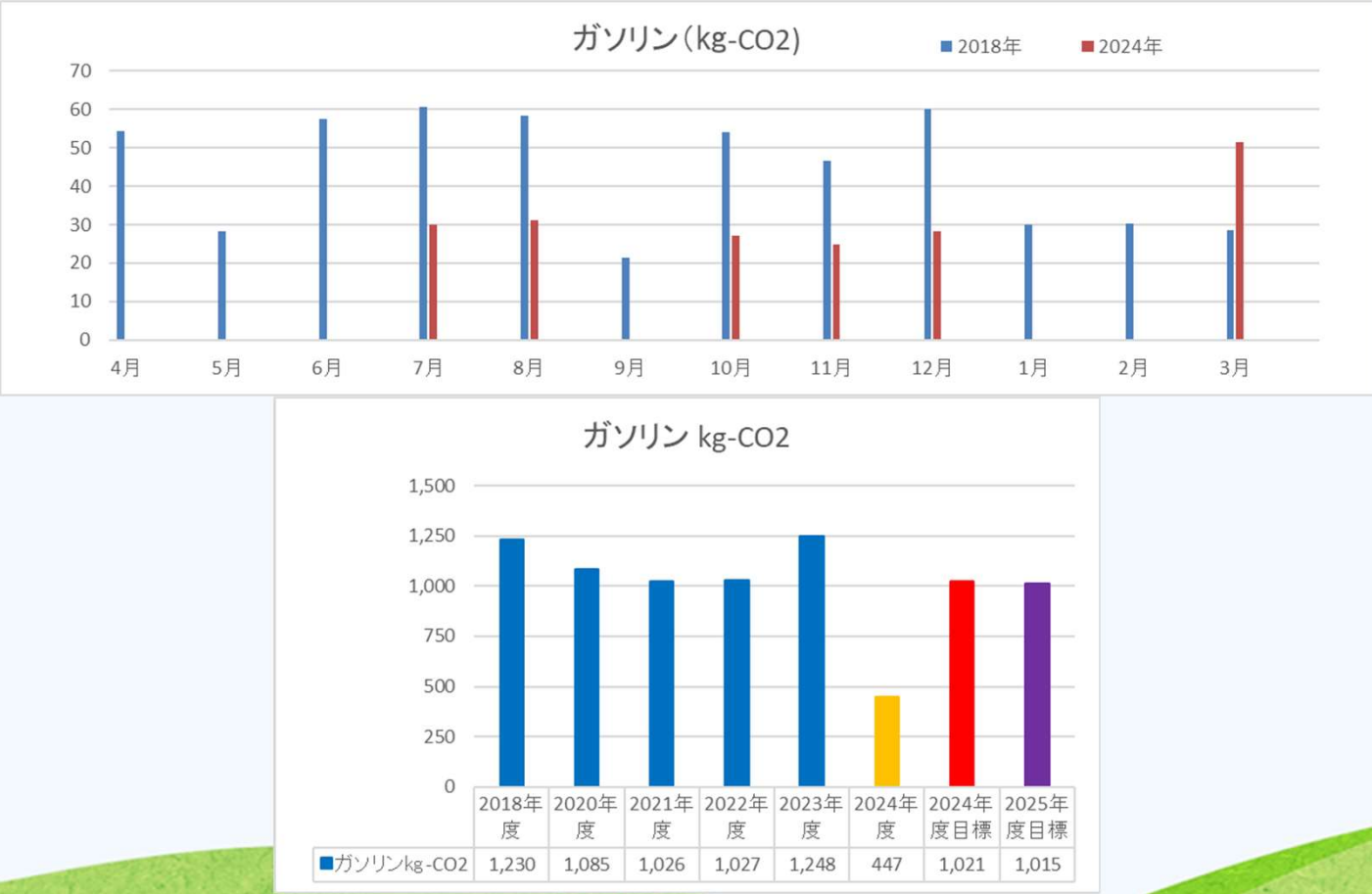
(2)LPG

LPG使用量は削減目標を達成しました、今後も継続的に必要最小限の火力使用に努めてまいります。



(3)ガソリン

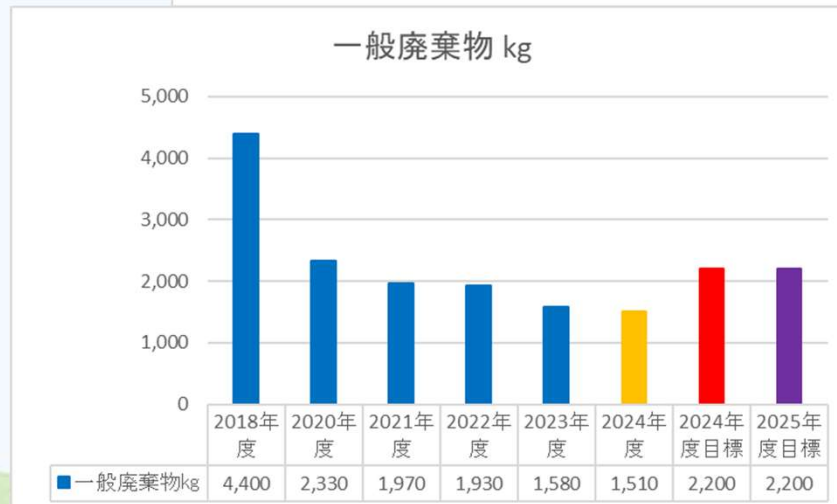
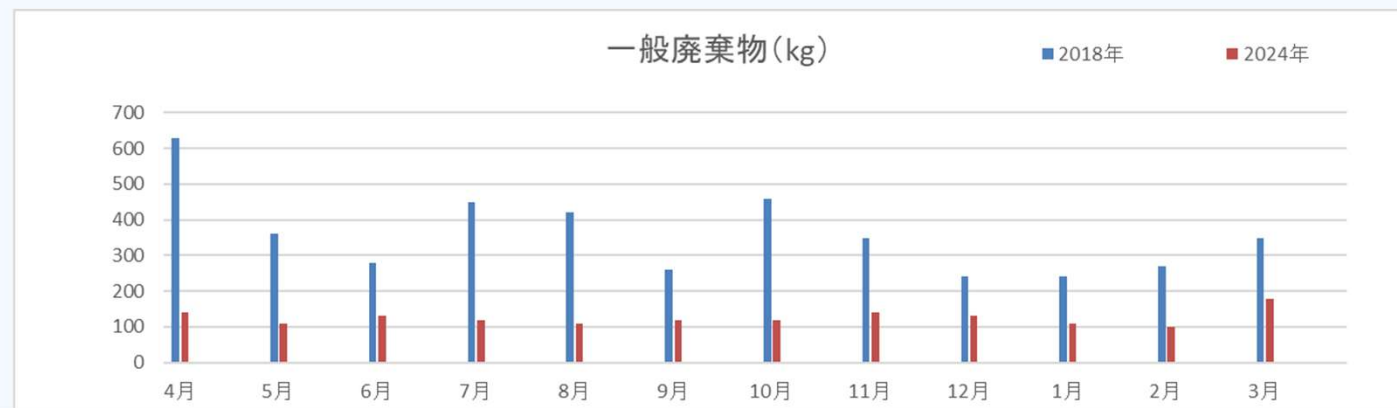
社有車使用回数の削減に努めた結果、CO2の排出が低減できた。



(4)一般廃棄物

削減目標を達成できました、今後も継続し梱包箱の通い箱化により段ボールの使用を削減していきます。

また今後もDX化推進により手書き帳票類の削減に努めていきます。



ダンボール回収箱

古紙回収箱

「可燃物ごみ」分別について
目的: 資源の再利用・CO2排出削減

今まで、何気なく「可燃物のごみ袋」に入れていたものの中には「資源」として「再利用」できるものもあります

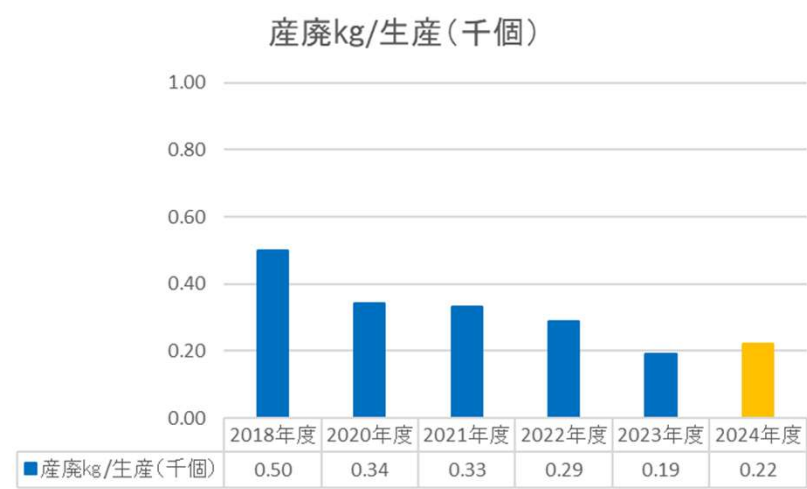
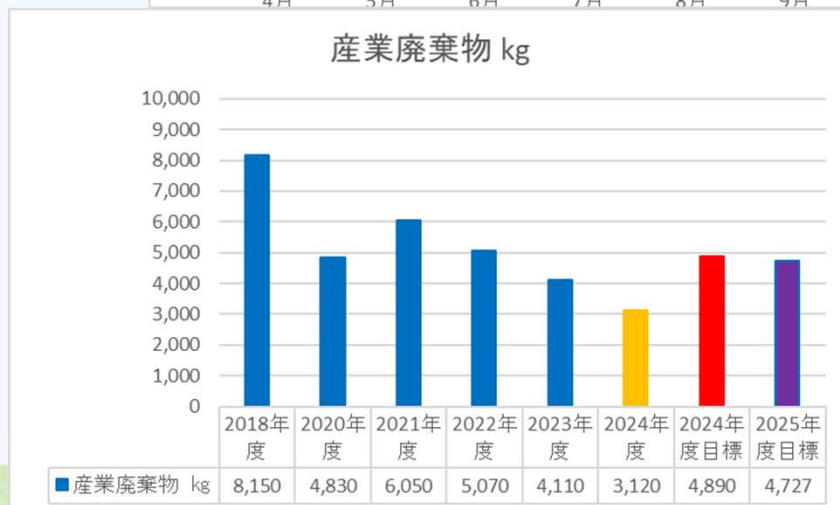
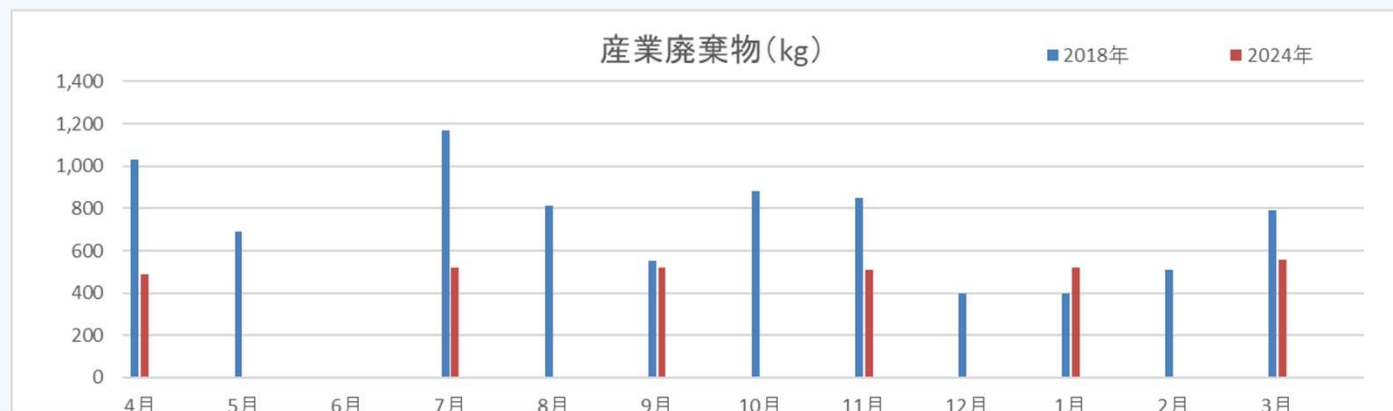
「可燃物のごみ袋」に入れる前に「資源回収箱」の表示を確認し「資源」該当するものは、その箱に入れてください

銅回収箱

その他鉱石回収箱

(5)産業廃棄物

射出成型品の受注減に伴い、小ロット生産が多く段取り替え時に発生するロス材が多くなり、廃棄物量としては目標値を達成したが、生産1,000個当たりの廃棄物量は前年度より増えた。



(6)水道水

削減目標を達成できました、今後も継続し節水に努めていきます。



(7)環境に配慮した生産活動

昨年に引き続き出荷用の段ボールは、顧客との取り交わしで通い箱方式とし総合的に資源の削減を図るよう取り組んだ。

中国からの製品輸入の際には出来るだけ通い箱あるいは、指定ダンボールに製品を収納し、入れ替えによる不要梱包材の発生を抑制しました。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

- ・ 今期(2024年度)、環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、フロン排出抑制法に於いて、設備点検は実施していたが点検記録簿を準備していなかった

適用される法規	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	違反・起訴の有無
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、紙、段ボール等)	なし
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	なし
振動規制法	空気圧縮機	なし
水質汚濁法	上下水道	なし
下水道法	上下水道	なし
消防法(危険物)	危険物の保管	なし
フロン排出抑制法	業務用空調機、コンプレッサー	定期点検記録簿なし
顧客要求事項	品質管理	なし

9.外部からの環境上の苦情・要請等

- ・ 今期(2024年度)も、外部からの環境上の苦情・要請はありませんでした



10.緊急事態対応の試行・訓練

- ・ 2024年7月25日 山形県 大雨洪水警報

線状降水帯発生に伴い、朝方から雨量が増加

社長・専務・環境責任者出張不在中での災害危機への対応

電話連絡を取りながら行動した

会社前側溝が増水により氾濫し道路が冠水、工場内への浸水はない

屋内倉庫(廃オイル保管庫)への浸水無し、廃オイル缶からの流出なしを目視で確認

従業員の安全を考慮し、PM2:00で出荷責任者2名を除き一斉帰宅

出荷責任者は当日出荷品を運送業者に引き渡し後PM4:00で帰宅

- ・ 2025年7月26日 会社被害状況確認 ⇒ 被害なし オイル流出なし

従業員および家族にも幸いにも被害なし

緊急時の対応として電話連絡でも慌てることなく行動できることがわかった

工場内への浸水がなければ屋内倉庫(廃オイル保管庫)に影響がない事も確認できた

11.SDGsとのかかわり



- ・ ワークライフバランスの推進
- ・ イクボス推進
- ・ いきいき子育てゴールド認定企業



- ・ 社内外でのフードロスの低減



- ・ 出勤時の体調確認



- ・ 従業員への教育の場の提供減



- ・ 出勤時の体調確認



- ・ 水道水の削減



- ・ 電力によるCO2の削減
- ・ LPGによるCO2の削減
- ・ 自動車燃料によるCO2の削減



- ・ 従業員への教育の場の提供



- ・ 自社技術力の向上



- ・ 発展途上国の発展に寄与する製品への部品供給



- ・ 環境保全に配慮した生産活動



- ・ 一般廃棄物の削減
- ・ 産業廃棄物の削減
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 環境に配慮した生産活動



- ・ 電力によるCO2の削減
- ・ LPGによるCO2の削減
- ・ 自動車燃料によるCO2の削減
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 環境に配慮した生産活動



- ・ 水道水の削減



- ・ グリーン購入の推進



- ・ 当社の製品が社会の中でどう活かされているのかを考える



- ・ お客様との定期品質会議や定期生産会議で問題点の胸腔化を図る

12.代表者による全体の評価と見直し・指示

EA21の活動を始めて6年が経過しました。

電力に関しては、契約会社の変更もありましたので、同様に適用係数の見直しをしてください。

また、指摘事項のフロン排出抑制法に基づく定期点検が未実施だったところ、すでに社内点検を

始めたとの報告がありましたが、確実に行われているかのチェック体制を確立してください。

代表取締役 平井美沙

【EA21環境経営システムの変更の必要性和主な変更内容】

項 目	内 容
◆環境経営方針	変更の必要はない
◆環境経営目標	各項目の削減や輸送に関わるエネルギー削減（国内輸送方法含め）を継続すること
◆環境経営計画	来期も引き続き、原油高に対抗すべく個人個人でできる省エネ活動を持続的に行うこと
◆実施体制	変更の必要はない（環境と品質は統合し、より迅速に機能出来るようにした）
◆システム全般	継続的に各課固有（独創的な）の取り組みを持つよう自主的な活動することが望ましい

芝電化株式会社 酒田工場



〒998-0875 山形県酒田市東町一丁目20番17号
TEL0234-23-2111 (代) FAX0234-23-2113
sdkjp@shibadenka.co.jp
<https://www.shibadenka.co.jp>